

小学校 中 学年<3・4一(9)>

学 年	3年 4年	時 間	図画工作 or 総合的な学習 「ペットボトルランタン作り」	時 期	適時	時 数	2時間
目 標	身近な材料（ペットボトル）を使ってランタンを作る活動を楽しみながら、災害時に使える灯火についてどんなものがあるか考え、緊急時等に工夫して生活する力をつけることができる。						
資料・準備	2L角型ペットボトル、ろうそく(直径2cm)、輪ゴム、カッター、はさみ、のり、油性サインペン、色セロハン、作り方説明書						

展開

	学習活動と内容	指導上の留意点 支援(○)
導 入	1 災害によって、電気が使えなくなった場合、明かりをとるにはどんなものがあるか考える。	○懐中電灯等があるが、その他の明かりとして有効なものに、ろうそくがあることを知らせる。
展 開	2 ろうそくを立てておく容器として、身近にあるペットボトルを使ったペットボトルランタンを作る。 ・作り方の説明を聞いて、とりかかる。 ・彩色や飾り付けをする。 3 完成したペットボトルランタンを並べて鑑賞する。	○カッターや火を扱うので、危険がないよう注意しながら作業をするよう指示する。 ○班で協力して作業を進めさせる。 ○手順の分からない児童に支援する。 ○できあがった児童は、友達の支援をする。
ま と め	4 災害時の灯火と、避難に必要なものについて考える。	○ランタンをきっかけとして、災害避難時に必要なものについて考える。 ●総合的な学習で扱った場合は、次時以降の学習を進めるきっかけとする。

関 連 す る 教 科 ・ 領 域 等	
協 力 団 体	鳥取大学
題 材 ・ 指 導 案 等	平成23年度鳥取型防災教育モデル校(大山町立大山西小学校)の実践を参考に作成